

## 平成23年度 機械貿易動向について

### 1. 全商品貿易動向～輸出は 3.7%減、輸入は2年連続の2ケタ増、約 4 兆円の貿易赤字

(図表1)

(1)平成23年度の全商品輸出額は、65 兆 2,814 億円で、対前年比(以下同じ)3.7%減と前年度

(14.9%増)の大幅増から、一転してマイナスとなった。これは、①震災の影響で一部国内生産が停止したこと、②歴史的円高で円建て輸出額が縮小したこと(円建額で4.6%の円高減少要因となる)、③中国を中心としたアジア、北米、欧州で輸入需要がマイナスとなったことによる。

商品別では輸出額の約18%を占める電気機器(8.0%減)、22%の輸送機械(4.3%減)、10%の化学製品(6.7%減)等が減少した。

(2)一方、全商品輸入額は69 兆 6,974 億円で、11.6%増と2年連続の大幅増となった。これは輸入額の33%を占める原油・ガス等鉱物性燃料(27.5%増)、約9%の食料品(11.9%増)、約9%の化学製品(11.9%増)が大幅に増加したためである。

(3)この結果、入超額は4兆4,160億円となり、平成20年度以来3年ぶりの貿易赤字となった。

図表1. 全商品・機械貿易動向(年度)

		円建(億円)				ドル建(百万ドル)			
		平成22年度	伸び率	平成23年度	伸び率	平成22年度	伸び率	平成23年度	伸び率
輸出	全商品	677,888	14.9	652,814	▲3.7	789,113	23.9	827,290	4.8
	機械	441,506	16.7	425,143	▲3.7	513,907	25.8	538,966	4.9
	シェア	65%		65%					
輸入	全商品	624,567	16.0	696,974	11.6	725,616	25.4	882,627	21.6
	機械	161,478	14.5	163,171	1.0	188,033	23.6	206,818	9.9
	シェア	26%		23%					
収支	全商品	53,321	2.8	-44,160		63,497	9.1	-55,336	
	機械	280,028	18.0	261,972	▲6.4	325,874	27.0	332,148	2.0
	シェア	5.25倍							

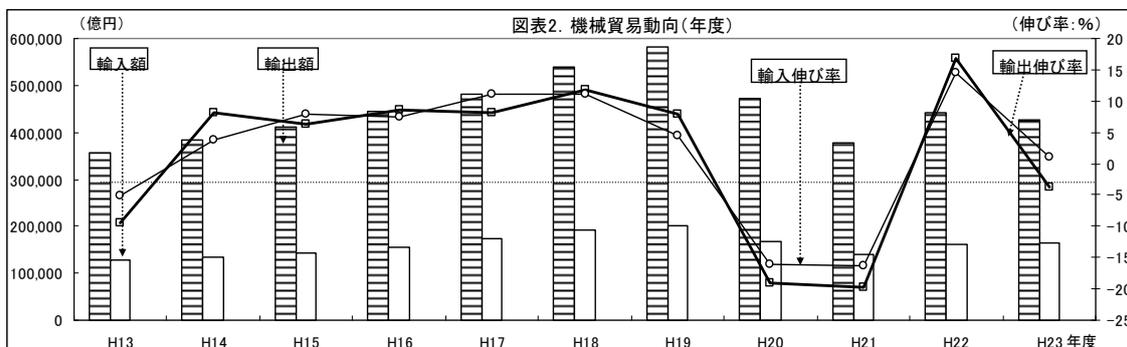
### 2.機械貿易動向

(1)機械輸出入動向～輸出は大震災、円高等の影響でマイナス、輸入は2年連続プラス(図表1、2、3)

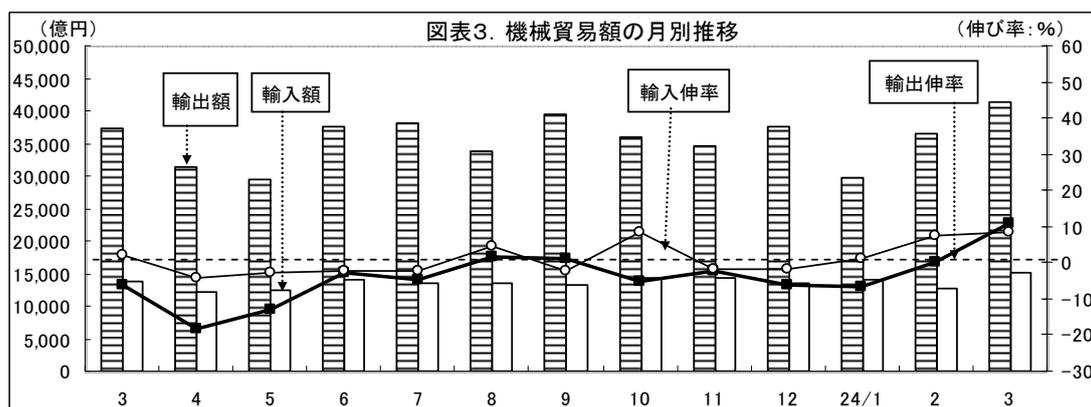
①全商品輸出額の65%を占める機械輸出額は42兆5,143億円で、前年度比3.7%減と昨年度(16.7%増)の2ケタ増からマイナスへ転じた。この輸出額は、リーマンショック以前の平成19年度の73%の水準である。月別輸出額では、昨年3月の大震災以降7月まで一貫して伸び率を低下させたが、8、9月に一旦回復し、その後、超円高の定着や欧州信用不安、タイ洪水の影響から、10月から平成24年1月にかけて再びマイナスとなったが、2月から3月にはプラスへ転じた。

②全商品輸入額の23%を占める機械輸入額は16兆3,171億円、1%増と2年連続のプラス成長となった。月別輸入額は、昨年4月から7月まで4ヶ月連続でマイナスとなったが乗用車、スマートフォンなど携帯電話等の需要増に後押しされ年度後半、1～3月では3ヶ月連続でプラスとなった。

③この結果、機械貿易の黒字額は、6.4%減の 26 兆 1,972 億円となった。



年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
対ドルレート(円)	122.4	113.5	107.5	112.8	116.9	114.9	100.6	93.1	86.1	78.9
円高(-) %	-1.9	-7.3	-5.3	4.9	3.6	-1.7	-12.5	-7.4	-7.5	-8.3



## (2)地域別輸出動向～NIES/ASEAN、中国、EU 向けがマイナス(図表4、5)

地域別動向を見ると、以下の通り。

- ①最も低い伸びとなったのが、機械輸出額の 27.9%を占める最大輸出地域の **NIES/ASEAN 向け**で、台湾(18.1%減)、香港(16.5%減)が 2 ケタ減となった他、マレーシア(8%減)、韓国(3.9%減)等向けがマイナスとなり、機種別では、半導体製造装置等産業機械、民生用電子部品、電子デバイス、電子計測器等が減少し、6.2%減となった。
- ②**中国向け**も、建設機械(41.1%減)、船舶(37.4%減)、電子計算機(25.5%減)、陸用内燃機(18.4%減)、民生用部品(12.7%減)、乗用車(10.0%減)等が大幅に減少し、6.1%減となった。
- ③約 13%を占める **EU 向け**は、半導体製造装置(34.4%減)、電子デバイス(21.0%減)、民生用電子部品(18.4%減)、乗用車(16.3%減)等が大幅減となり 4.7%減となった。
- ③20%の**その他地域向け**は、中近東(6.6%減)、中南米(4.7%減)、大洋州(2.2%減)向けの伸びが縮小し 0.9%減となった。一方、ロシア東欧(7.7%増)、インド(10.1%増)向けは増加となった。

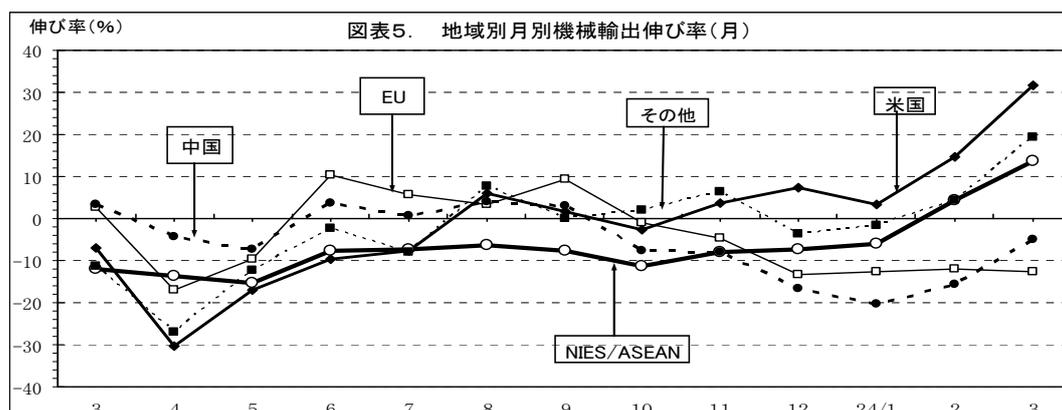
④20%の**北米向け**は、同国向け輸出額の半分を占める自動車(4.2%減)や電子計算機(20.9%減)、電子デバイス(14.9%減)が減少する一方で、工作機械(57.9%増)、建設機械(53.0%増)、産業車両(36.6%増)等が増加したため伸び率は横這いで推移した。

なお、リーマンショック以前の平成19年度の機械輸出額と比較すると、中国向けは水準を超えているが、NIES/ASEANは80%、その他地域は69%、北米は65%、EUは55%の水準である。

図表4. 地域別機械輸出動向(年度) (単位:億円)

輸出先	平成21年度			平成22年度			平成23年度			対19年度比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	378,466	▲ 19.8	100.0	441,506	16.7	100.0	425,143	▲ 3.7	100.0	0.73
北米	78,745	▲ 24.0	20.8	87,624	11.3	19.8	87,577	0.0	20.6	0.65
EU	50,556	▲ 29.6	13.4	55,261	9.3	12.5	52,651	▲ 4.7	12.4	0.55
NIES/ASEAN	107,767	▲ 11.4	28.5	126,345	17.2	28.6	118,545	▲ 6.2	27.9	0.80
中国	65,522	▲ 0.6	17.3	83,023	26.7	18.8	77,930	▲ 6.1	18.3	1.06
その他	75,875	▲ 30.2	20.0	89,253	17.6	20.2	88,440	▲ 0.9	20.8	0.69

▲は、前年比10%以上のプラス



### (3) 業種別輸出動向～19業種中12業種がマイナス、自動車の減少が大きく影響(図表6)

①平成23年度は全19業種のうち、12業種がマイナスとなりプラスとなったのは7業種であった。

②このうち全体の30%を占める**自動車**が米国(4.2%減)、EU(10.7%減)、中国(6.9%減)向けが減少したため、全体で4.5%減と昨年度の2ケタ増から一転マイナスとなり、機械輸出の減少に大きな影響を与えた。その他、16%の産業機械(2.8%減)、8%の電子デバイス(14.8%減)、船舶(6.7%減)、民生用電子機械(13.5%減)、軽電気機械(5.1%減)など輸出額上位機種が軒並みマイナスとなった。

③一方、工作機械(30.5%増)、建設機械(12.4%増)、産業車両(5.5%増)、陸用内燃機(4.3%増)、軽機械(3.9%増)、ベアリング(3.7%増)はプラスとなった。

④なお、平成19年度の輸出額と比較してみると、同年度と同水準及び上回ったのは、医療機械、ベアリング、光学機械、工作機械の4業種のみで、自動車、民生用電子機械、産業車両は50～60%台、通信機械、電子計算機は30～40%台の水準である。

図表6. 上位19業種の輸出額の動き(年度)

(単位:億円)

平成21年度				平成22年度				平成23年度				対19年 度比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	118,209	▲ 23.4	31.2	自動車	136,890	15.8	31.0	自動車	130,715	▲ 4.5	30.7	0.64
産業機械	61,073	▲ 22.3	16.1	産業機械	79,502	30.2	18.0	産業機械	77,254	▲ 2.8	18.2	0.86
電子デバイス	37,877	▲ 5.9	10.0	電子デバイス	40,294	6.3	9.1	電子デバイス	34,341	▲ 14.8	8.1	0.68
船舶	23,625	1.4	6.2	船舶	24,513	3.8	5.6	船舶	22,861	▲ 6.7	5.4	0.99
民生用電子機械	23,380	▲ 26.3	6.2	民生用電子機械	23,226	▲ 0.7	5.3	民生用電子機械	20,100	▲ 13.5	4.7	0.50
軽電気機械	21,078	▲ 12.6	5.6	軽電気機械	24,198	14.8	5.5	軽電気機械	22,951	▲ 5.1	5.4	0.74
重電気機械	19,119	▲ 13.2	5.1	重電気機械	21,664	13.4	4.9	重電気機械	21,331	▲ 1.5	5.0	0.84
軽機械	12,147	▲ 12.3	3.2	軽機械	14,706	21.1	3.3	軽機械	15,273	3.9	3.6	0.72
光学機械	12,468	3.0	3.3	光学機械	14,654	17.5	3.3	光学機械	15,408	5.1	3.6	1.02
通信機械	7,552	▲ 15.6	2.0	通信機械	6,331	▲ 16.2	1.4	通信機械	5,579	▲ 11.9	1.3	0.49
電子計算機	7,226	▲ 25.5	1.9	電子計算機	6,432	▲ 11.0	1.5	電子計算機	5,262	▲ 18.2	1.2	0.38
建設機械	7,496	▲ 47.0	2.0	建設機械	12,621	68.4	2.9	建設機械	14,186	12.4	3.3	0.82
医療機械	3,754	19.8	1.0	医療機械	3,822	1.8	0.9	医療機械	3,721	▲ 2.6	0.9	1.23
工作機械	3,775	▲ 53.8	1.0	工作機械	7,670	103.2	1.7	工作機械	10,008	30.5	2.4	1.00
ベアリング	3,130	▲ 16.3	0.8	ベアリング	4,387	40.2	1.0	ベアリング	4,551	3.7	1.1	1.12
陸用内燃機	2,786	▲ 29.5	0.7	陸用内燃機	4,441	59.4	1.0	陸用内燃機	4,632	4.3	1.1	0.96
農業機械	1,668	▲ 28.0	0.4	農業機械	1,817	8.9	0.4	農業機械	1,723	▲ 5.2	0.4	0.72
繊維機械	1,405	▲ 21.5	0.4	繊維機械	2,410	71.6	0.5	繊維機械	2,287	▲ 5.1	0.5	0.73
産業車両	1,000	▲ 53.8	0.3	産業車両	1,473	47.3	0.3	産業車両	1,554	5.5	0.4	0.60
合計	368,768		97.4	合計	431,051		97.6	合計	413,737		97.3	0.72

は10%以上の増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。  
軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:理化学機器、計量機、試験・検査機、時計、マシン。光学機械:光学材料、カメラ。

#### (4) 機械輸入動向～携帯電話、乗用車が大幅増(図表7)

平成23年度の機械輸入額は**1.0%増**と微増ながら2年度連続プラスとなった。

- ①機種別要因では、**携帯電話**(62.9%増)が3年度連続、**乗用車**(22.3%増)が2年度連続で2ケタの大幅増となった他、重電気機械、白物家電、医療機器、航空機、分析試験検査機が増加となった。
- ②地域的要因では、機械輸入額の42%と最大の輸入先である**中国**(5.1%増)、14%の**EU**(10.0%増)からの輸入が増加したが、14%の**米国**(0.9%減)及び**ASEAN**(6.1%減)、13%の**韓国・台湾**(7.3%減)からの輸入はマイナスとなった。
- ③なお、輸入額が輸出額を上回っているのは、電子計算機、携帯電話、TV、エアコン等白物家電、医療機器、録画・再生機器、時計、ラジオ、写真機である。

図表7. 機械輸入額上位13機種(年度)

単位:億円

平成21年度				平成22年度				平成23年度			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	19,001	▲ 10.0	13.5	電子デバイス	20,763	9.3	12.9	電子計算機	19,385	▲ 2.7	11.9
電子計算機	17,761	▲ 13.1	12.6	電子計算機	19,923	12.2	12.3	電子デバイス	16,986	▲ 18.2	10.4
重電気機械	6,610	▲ 24.1	4.7	重電気機械	7,512	13.6	4.7	携帯電話	8,333	62.9	5.1
自動車部品	6,005	▲ 18.9	4.3	自動車部品	7,381	22.8	4.6	重電気機械	7,853	4.5	4.8
白物家電	5,264	▲ 5.6	3.7	TV	6,469	87.3	4.0	乗用車	7,469	22.3	4.6
医療機器	4,930	1.5	3.5	乗用車	6,107	38.9	3.8	自動車部品	7,290	▲ 1.8	4.5
乗用車	4,397	▲ 27.9	3.1	白物家電	5,926	12.5	3.7	白物家電	6,501	9.7	4.0
航空機	4,024	▲ 24.7	2.9	医療機器	5,124	3.9	3.2	医療機器	5,292	3.3	3.2
民生用電子部品	3,923	▲ 12.6	2.8	携帯電話	5,116	62.0	3.6	TV	4,616	▲ 28.6	2.8
光学機械	3,600	▲ 26.5	2.6	民生用電子部品	4,158	6.0	2.6	光学機械	3,859	▲ 2.4	2.4
TV	3,454	50.6	2.4	光学機械	3,951	9.7	2.4	航空機	3,723	3.5	2.3
分析試験検査機	3,392	▲ 20.1	2.4	航空機	3,596	▲ 10.6	2.2	民生用電子部品	3,524	▲ 15.3	2.2
携帯電話	3,157	42.2	2.2	分析試験検査機	3,074	7.3	1.9	分析試験検査機	3,234	5.2	2.0
13機種合計	85,518		60.6	13機種合計	99,100		70.3	13機種合計	98,065		60.1

前年比10%以上の増加。白物家電:民生用電気機器